

## ベンチマークテスト用地下構造モデル説明書

京大原子炉 川辺

## 1. データの内容

推本の「長周期地震動予測地図」2009年試作版の東海・東南海地震用地下構造（以下、推本2009年モデル）と「長周期地震動予測地図」2012年試作版の西日本の地下構造モデル（以下、推本2012年モデル）を結合した地下構造モデルに、大成建設の山本氏に計算して頂いた直交座標系の距離データを追加した。推本2009年モデルと推本2012年モデルの結合方法は次のとおりである。

- ・領域は推本2009年モデルの領域とした。
- ・推本2009年モデル第1層～第14層の下に推本2012年モデルの第15層～第23層を結合し、23層構造とした。
- ・第14層以浅の層上面深度が第15層のそれよりも深い場合には、それらの層の上面深度を第15層の上面深度に変更した。

第14層以浅の層上面深度を変更した地点数を表1に、変更位置及び変更前の深さと第15層の深さ（変更後の深さ）を図1に示す。

## 2. 元データ

## (1) 「長周期地震動予測地図」2009年試作版

[http://www.jishin.go.jp/main/chousa/09\\_choshuki/dat/index.htm](http://www.jishin.go.jp/main/chousa/09_choshuki/dat/index.htm) よりダウンロード

LPGM2009\_tokai\_tonankai.str : 東海・東南海地震用地下構造

## (2) 「長周期地震動予測地図」2012年試作版

[http://www.jishin.go.jp/main/chousa/12\\_choshuki/dat/index.htm](http://www.jishin.go.jp/main/chousa/12_choshuki/dat/index.htm) よりダウンロード

Wjapan\_path20111110.dat : 西日本

## 3. ファイルの内容

## (1) Wjapan2009and2012.dat

直交座標系の距離情報なしのデータ。フォーマットは推本2009年モデルと同じく1列目：経度、2列目：緯度、3列目以降：各層の上面位置。

## (2) Wjapan2009and2012\_6kei.dat

(1)のデータの経度・緯度を平面直角座標系第6系の原点（136度，36度）からの距離に置き換えたデータ。フォーマットは1列目：東西方向の距離（東向きが+）、2列目：南北方向の距離（北向きが+）、3列目以降：各層の上面位置。

(3) Wjapan2009and2012\_7kei.dat

(1)のデータの経度・緯度を平面直角座標系第7系の原点（137度10分，36度）からの距離に置き換えたデータ。フォーマットは(2)と同じ。

(4) Wjapan2009and2012\_8kei.dat

(1)のデータの経度・緯度を平面直角座標系第8系の原点（138度30分，36度）からの距離に置き換えたデータ。フォーマットは(2)と同じ。

(2) Wjapan2009and2012\_9kei.dat

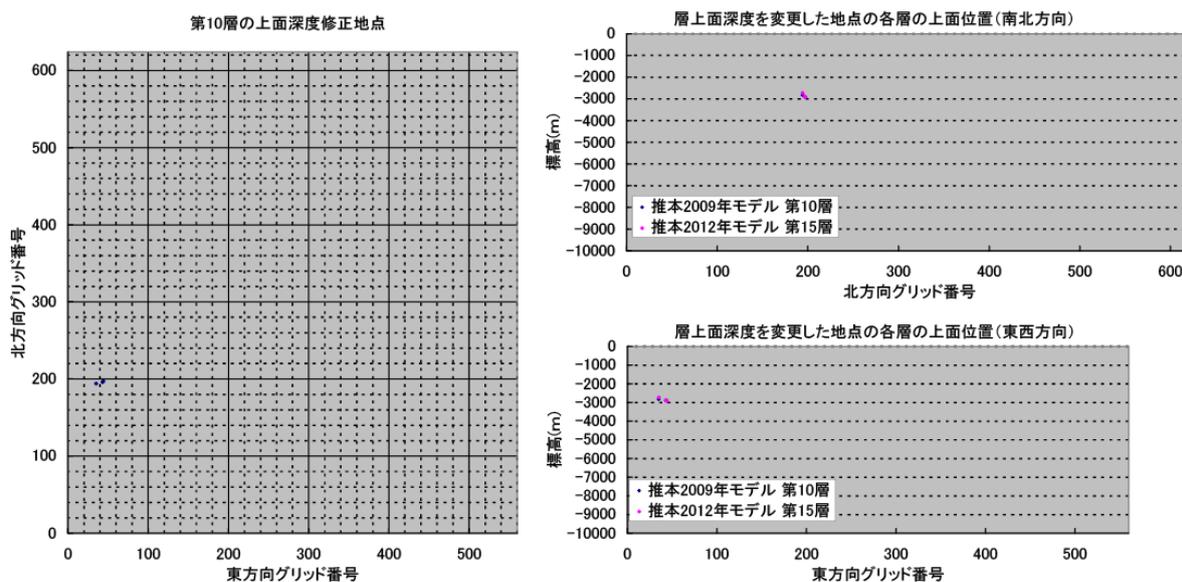
(1)のデータの経度・緯度を平面直角座標系第9系の原点（139度50分，36度）からの距離に置き換えたデータ。フォーマットは(2)と同じ。

※平面直角座標系の詳細については下記のサイトをご参照ください。

国土地理院：<http://www.gsi.go.jp/LAW/heimencho.html>

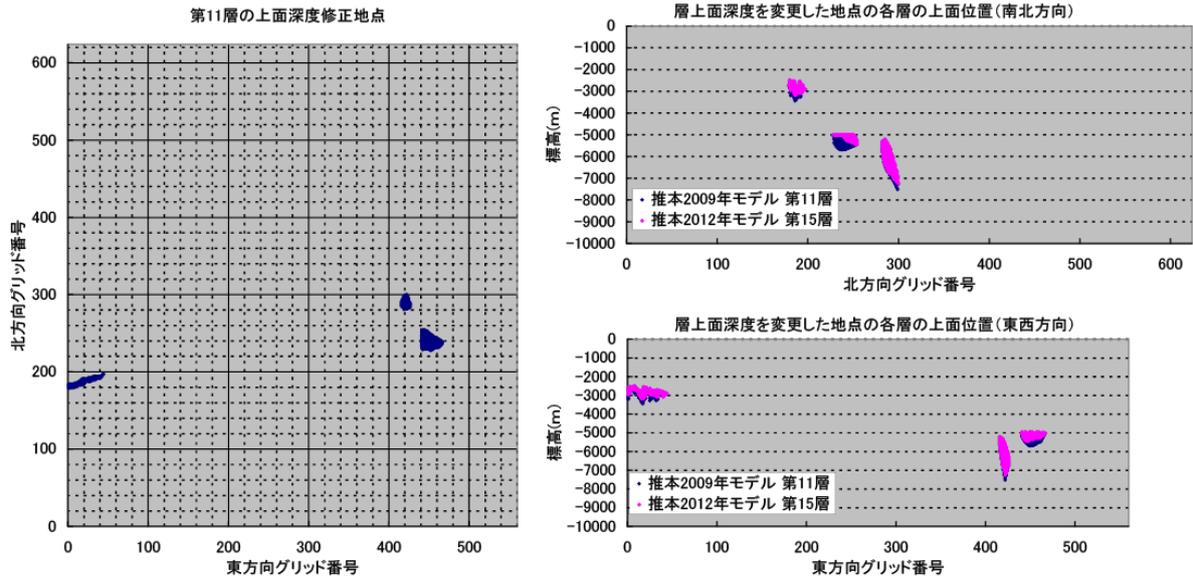
表1 層上面深度変更地点数

層番号	変更地点数
第10層	3
第11層	790
第12層	797
第13層	823
第14層	1803

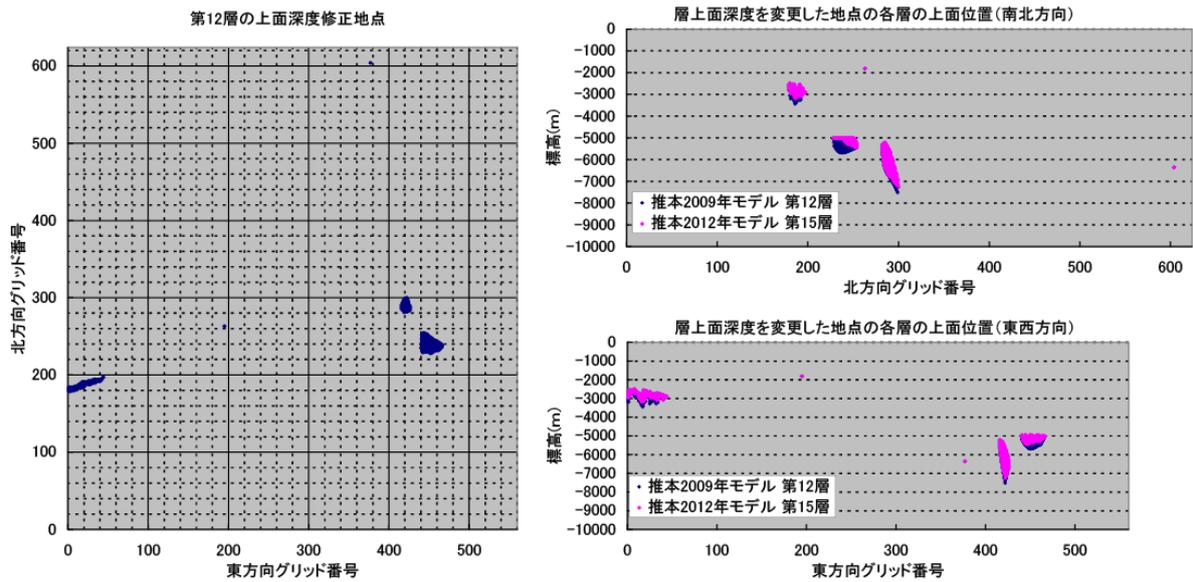


(a) 第10層

図1 層上面深度変更位置及び変更前の深さと第15層の深さ（変更後の深さ）

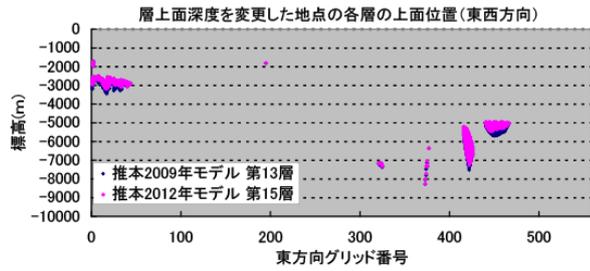
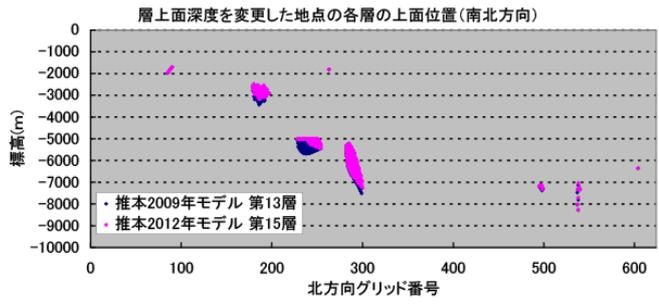
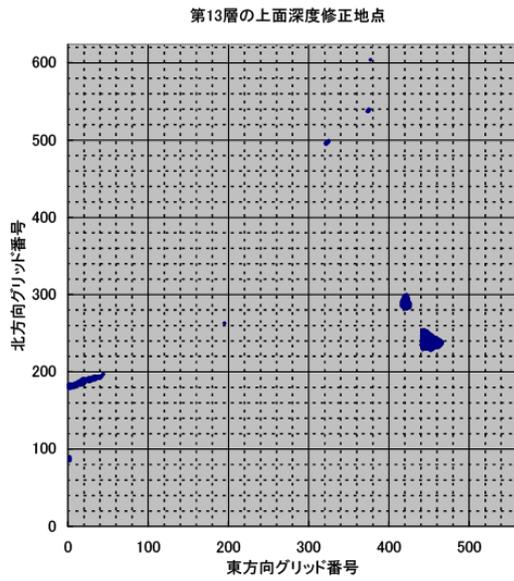


(b) 第11層

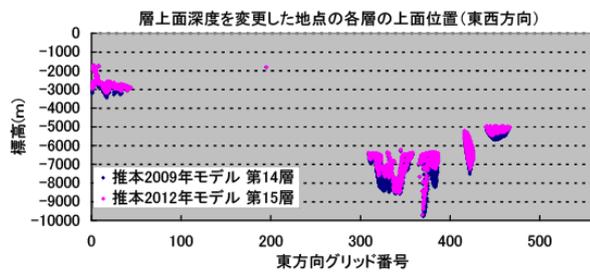
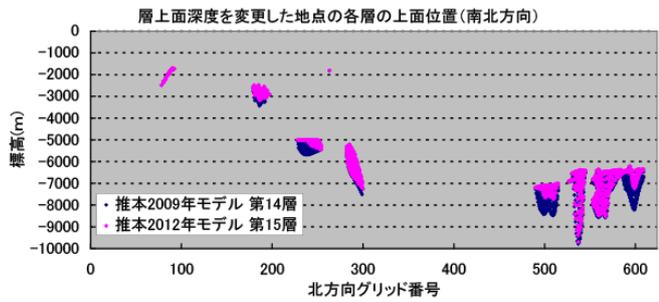
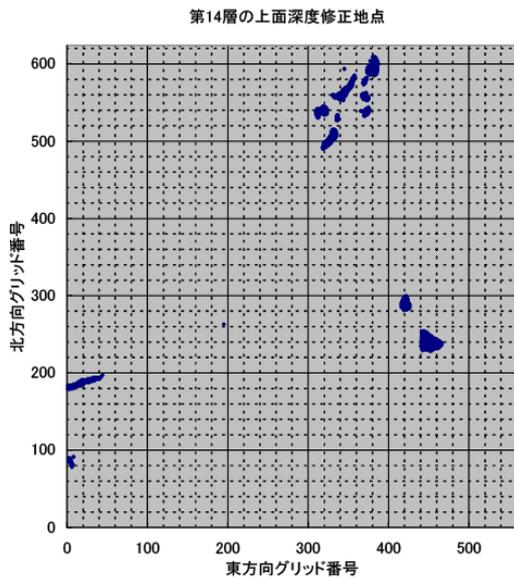


(b) 第12層

図1 続き



(b) 第13層



(b) 第14層

図1 続き